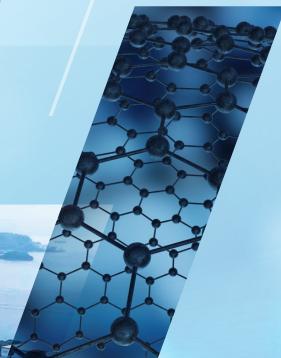


株主通信

第93期（2024年3月期）中間

2023年4月1日～2023年9月30日



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第93期第2四半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）における事業の概況をご報告申し上げます。

金属チタン事業においては航空機向け需要の回復に加えウクライナ紛争に起因するロシアからの調達回避もあり、航空機向け、一般産業用途向けチタン製品の販売が引き続き堅調に推移した一方、半導体向け高純度チタンや触媒事業・化学品事業の主要製品の販売は、海外の景気低迷の長期化等により低調に推移しました。コスト面では、為替円安による収益改善の効果はあったものの、輸入原材料・副資材コストの高止まりが、収益を大きく圧迫する要因となりました。

こうした状況のもと、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高366億49百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益23億41百万円（同59.8%減）、経常利益31億82百万円（同50.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益24億36百万円（同46.3%減）となりました。

配当につきまして、中間配当は1株当たり6円とさせていただきます。期末配当については、1株当たり11円に創立70周年記念配当の3円を加えて14円とする予定です。

過去3か年の中期経営計画（2020-2022年度）期間中は、前半はコロナ禍に伴うマスクなどの医療・衛生用品の需要増に対応した触媒事業とパソコンなどの巣ごもり需要増に対応した化学品事業が航空機需要の大幅減によるチタン事業の不振をカバーし、後半はウクライナ紛争に端を発するチタン特需が中国経済の低迷による触媒・化学品事業の不振をカバーしました。「3本柱」による事業展開の強みを改めて認識した中計期間でした。

23-25中期経営計画では、CO₂排出量削減

をはじめとするESG諸課題への取組みを進めるとともに、既に能力増強投資に着手した超微粉ニッケルをはじめ、スポンジチタンやポリプロピレン製造用触媒など拡大が想定される市場に対し、タイミングを見極めて投資判断を行い、生産能力の拡充を図ってまいります。また、保有技術の発展・応用によって事業品目の多角化をさらに推し進めるべく、水電解水素製造装置向けチタン多孔質体（WebTi）等の事業化に取り組んでまいります。

今後も当社の更なる発展を目指し、事業競争力の強化に向けた取組みを加速するとともに、株主の皆様をはじめとする全てのステークホルダーとの間にしっかりと信頼・共生関係を築くことができるよう、尽力してまいります。

皆様の変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年11月



東邦チタニウム株式会社
代表取締役社長 山尾康二

財務ハイライト

(単位：百万円)

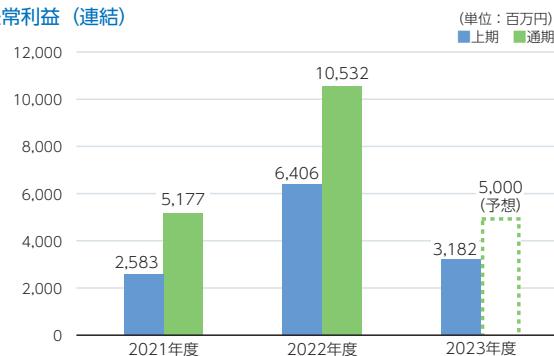
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2023年度第2四半期実績	36,649	2,341	3,182	2,436
2023年度通期業績予想	80,700	4,800	5,000	4,100

※2023年度通期業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

売上高 (連結)



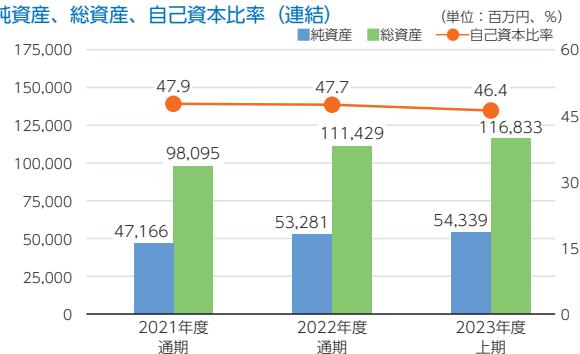
経常利益 (連結)



親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)



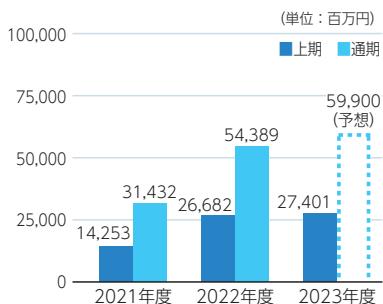
純資産、総資産、自己資本比率 (連結)



金属チタン事業

航空機向け、一般産業用途向け需要は引き続き堅調に推移したものの、前期に寄与していた製品在庫の取崩しが一巡したこと等により、販売量は前年同期を下回る水準となりました。収益面については、為替の円安、販売価格是正等の増益要因の一方で、原料鉱石、電力価格及び副資材費の高騰によるコスト上昇が顕在化したこと等により、減益となりました。

売上高 274億01百万円



営業利益 13億18百万円



触媒事業

アジア及び欧州におけるポリオレフィン用触媒の需要軟化により、販売量は前年同期を大幅に下回る水準となりました。

新工場稼働による固定費増の影響もあり、減収・減益となりました。

売上高 35億69百万円



営業利益 10億32百万円



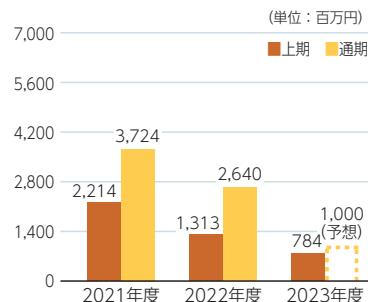
化学品事業

米国の利上げや中国の経済停滞長期化の影響に伴い、主要製品である超微粉ニッケルの主な用途である積層セラミックコンデンサー (MLCC) の需要減少が継続していることから、販売量は前年同期を下回る水準となりました。加えて原材料・資材・ユーティリティ類の値上がりの影響等により、減収・減益となりました。

売上高 56億79百万円



営業利益 7億84百万円



四半期連結財務諸表（要旨）

（単位：百万円）

四半期連結貸借対照表（要約）

科目	当第2四半期	前期
	2023年9月30日	2023年3月31日
〈資産の部〉		
流動資産	69,188	62,992
固定資産	47,644	48,436
有形固定資産	44,853	45,196
無形固定資産	981	1,028
投資その他の資産	1,809	2,211
資産合計	116,833	111,429
〈負債の部〉		
流動負債	40,548	34,165
固定負債	21,945	23,982
負債合計	62,493	58,147
〈純資産の部〉		
株主資本	54,462	53,378
その他の包括利益累計額	△257	△231
非支配株主持分	134	134
純資産合計	54,339	53,281
負債純資産合計	116,833	111,429

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

四半期連結損益計算書（要約）

科目	当第2四半期	前第2四半期
	2023年4月1日～ 2023年9月30日	2022年4月1日～ 2022年9月30日
売上高	36,649	38,890
売上原価	29,688	27,610
売上総利益	6,961	11,279
販売費及び一般管理費	4,619	5,455
営業利益	2,341	5,823
営業外収益	994	673
営業外費用	152	90
経常利益	3,182	6,406
特別損失	24	4
税金等調整前四半期純利益	3,158	6,402
法人税、住民税及び事業税	262	871
法人税等調整額	459	994
法人税等合計	721	1,866
四半期純利益	2,436	4,536
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,436	4,536

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

科目	当第2四半期	前第2四半期
	2023年4月1日～ 2023年9月30日	2022年4月1日～ 2022年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,928	8,790
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,234	△1,739
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,521	△5,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	50
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	352	1,875
現金及び現金同等物の期首残高	3,416	2,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,768	4,003

分析センター棟の竣工

2023年7月に分析センター棟（茅ヶ崎工場内）が竣工しました。お客様に対して今まで以上に信頼性の高い製品を提供できるように分析・評価技術を強化すべく、将来の技術開発を見据えて最新鋭の分析装置を設置するためのインフラを整備しました。



分析センター棟（茅ヶ崎工場）

設備概要

鉄骨造5階建て

建築面積 981㎡

延床面積 4,748㎡

ニッケル粉新工場の建設開始

超微粉ニッケルの更なる生産能力拡大のため、若松工場（福岡県北九州市若松区）内への新工場（第5工場）の建設に向けて準備を進めていましたが、2023年9月に起工式を行い、この度着工しました。

2025年度の完工及び営業運転開始を目指して建設を進めてまいります。

※ニッケル粉は、積層セラミックコンデンサ（MLCC）の内部電極として使用されます。通信機器の高機能化、自動車の自動運転化やEV化、第6世代移動通信システム（6G）の実用化等により、MLCCの市場は今後も大きく成長していくものと想定しております。



起工式の様子（若松工場）

ESG投資指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定

当社は、2023年6月、世界最大級の機関投資家である日本の年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用する代表的なESG指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初めて選定されました。



**FTSE Blossom
Japan Index**



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

「統合報告書2023」の発行

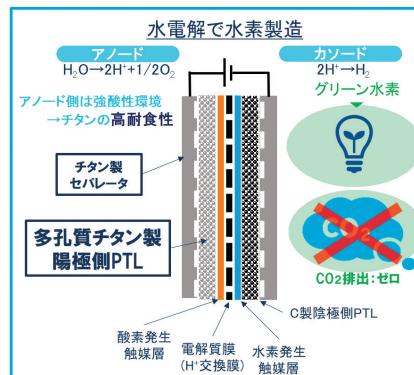
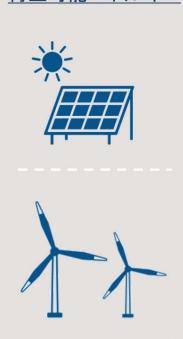
ステークホルダーの皆様にご覧いただきありがとうございます。当社の企業理念と中長期的な価値創造に向けた取り組みをお伝えするために、「統合報告書2023」を発行しました。今回は、新素材事業部の開発品であるWEBTiの中から、WEBTi-Kを特集しています。WEBTi-Kは、チタン粉末ペーストを原料とした多孔質チタンシートで、チタンの有する高耐食性や高い強度に柔軟性と平滑性に優れた性能を併せ持つ新素材として水素製造装置での活用が期待されています。



外観

PEM型水電解装置（水素製造装置）

再生可能エネルギー



統合報告書は当社ウェブサイトからご覧いただけます。
URL : <https://www.toho-titanium.co.jp/csr/library/>



個人株主様向け工場見学会のご案内

個人株主様向けの工場見学会を以下のとおり開催いたします。皆様のご応募をお待ちしております。

- | | | | |
|--------|---|--------|--|
| □ 日時 | 2024年3月16日（土）13：30～15：30 | □ 応募方法 | 同封の応募がききに必要事項をご記入のうえ、郵送にてご返信下さい。 |
| □ 開催場所 | 当社茅ヶ崎工場 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎三丁目3番5号
（JR相模線：北茅ヶ崎駅 徒歩1分）
※お車でのご来場はご遠慮下さい。 | □ 応募締切 | 2024年1月31日（水）必着 |
| □ 内容 | 事業概要のご説明及び工場見学
（工場見学は徒歩となります） | □ 当選連絡 | ご応募多数の場合には抽選とし、当選発表につきましては当選者へのご連絡（2月中旬発送予定）をもって代えさせていただきます。 |
| □ 募集人数 | 30名
（ご応募多数の場合には抽選とさせていただきます） | □ 参加費 | 無料
（開催場所までの往復交通費は株主様ご負担とさせていただきます） |
| □ 対象者 | 2023年9月30日現在、当社株式100株以上をご所有の個人株主様（同伴者1名まで可）
※同伴者は小学生以上の方1名様限りとさせていただきます。 | | |

会社概要 （2023年9月30日現在）

- | | |
|------------|---|
| □ 社名 | 東邦チタニウム株式会社 |
| □ 本社所在地 | 神奈川県横浜市西区南幸一丁目1番1号
JR横浜タワー22階 |
| □ 生産拠点 | 茅ヶ崎工場、若松工場、八幡工場、
日立工場、黒部工場、
岐阜工場（東邦マテリアル株式会社） |
| □ 資本金 | 119億63百万円 |
| □ 従業員数（連結） | 1,169名 |
| □ 主要な子会社 | トーホーテック株式会社
東邦マテリアル株式会社
Toho Titanium America Co., Ltd. |

株主メモ

- | | |
|-----------|--|
| □ 事業年度 | 4月1日から3月31日まで |
| □ 定時株主総会 | 6月 |
| □ 基準日 | 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日 |
| □ 単元株式数 | 100株 |
| □ 公告の方法 | 電子公告 |
| □ 上場証券取引所 | 東証プライム |
| □ 株主名簿管理人 | 三井住友信託銀行株式会社 |
| □ 同連絡先 | 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-782-031 |